ペルシア語

吉枝 聡子

1. はじめに

ペルシア語では複文は接続詞を用いて表すのが一般的であり、それぞれの目的に応じて並列接続詞 va/-o (同時的動作、継起的動作、並行的動作)、従属接続詞 ke (目的、条件、理由等)、tā (目的、結果)、čon (理由、原因)、agar (条件)等の接続詞、またより具体的な意味合いを表す複合接続詞が用いられる。例外として、継起的動作については過去分詞を用いて表すことが可能であるが、継起的動作が複数ある場合には表すことが困難など、その使用には制限も認められる。

2. 例文 1

(1) 彼はいつも新聞を読みながらご飯を食べる.

u hamiše dar hālike ruznāme mixānad, qazā mixorad. 3SG いつも CONJ 新聞 読む PRES.3SG 食事をする PRES.3SG

*同時動作の表現には複合接続詞 dar hālike「~しながら」が多く用いられる.これ以外にも vaqtike「~の時」などを用いた以下のような表現も可.

uvaqtikeqazā mixoradhamišeruznāmemixānad,3SGCONJ食事をする PRES.3SGいつも新聞読む PRES.3SG「彼は食事をする時、いつも新聞を読んでいる」

(2) (私は) 昨夜は10時に家に帰って、少しテレビを見て(から)、寝ました.

sā'at-e dah (man) dišab be bargaštam, xāne kami 昨夜 少し 1SG 10時(に) **PREP** 家 帰る PAST.1SG ba'ad (az ān) televiziyon didam (va) xābidam. テレビ 見る PAST.1.SG (CONJ) (その)後 眠る PAST.1SG

*(2)(3)継起的動作は、並列接続詞 $va/-o^2$ 「そして」を用いた連結か、接続詞を省略した動詞連結によって表されるのが一般的. なお継起的動作については、下のように過去分詞を用いた言

¹ 本稿の作成にあたり、Kāve Maqsudi 氏 (本学大学院博士後期課程在学) に協力をいただいた。 記して感謝したい。

² va/-o は, 文の連結のように区切りが大きいと感じられる場合には va, 語(句)の連結には前節的な-o が用いられる. ただし文同士の連結でも継起的動作を表す場合などには-o が使用されることも多く, これらは明確に使い分けられているわけではない.

い換えも可能である(やや文語的となる). ただし、過去分詞で表される継起的動作は1つのみで、複数の動作が連続する場合は接続詞 va または直接連結で表す.

(man) dišab qazā xorde xābidam.

(1SG) 昨夜 食事をする PAST.PTCPL 眠る PAST.1SG

「(私は) 昨夜は食事をしてから寝ました」

(3) (私は) 昨日階段から落ちてケガをした.

(man) diruz az pelle oftādam va zaxmi šodam

1SG 昨日 PREP 階段 落ちる PAST.1SG CONJ 怪我をする PAST.1SG

(4)今日も父は会社に行って、兄は大学に行った.

emruz ham, pedaram be šerkat raft

今日 ADV 父-PRON.SUF.3SG PREP 会社 行くPAST.3SG

va barādaram (ham) be dānešgāh (raft).

CONJ 兄-PRON.SUF.3SG (ADV) PREP 大学 (行く PAST.3SG)

(5)彼女は今日は帽子をかぶって歩いていた.

a. u emruz dar hālike kolāh be sar karde / gozāšte bud

3SG 今日 CONJ 帽子 被る PAST.PFT.3SG

rāh miraft/qadam mizad.

歩く IMPF.PAST.3SG

b. u emruz kolāh be sar karde / gozāšte (va)

3SG 今日 帽子 被る PAST.PTCPL CONJ

rāh miraft / gadam mizad.

歩く IMPF.PAST.3SG

*上記(2)と同様に、過去分詞および接続詞(または直接連結)が可能.分詞を用いた b.は付帯 状況および時間差を伴う継起的動作(「帽子を被り、そして」)の両方に使用可、また付帯状況 を示す接続詞を用いた a.は同時進行(「帽子を被った状態で」)のニュアンスが強い.

(6) (私は) 休みの日はいつも本を読んだり、テレビを見たりしています.

(man) ruzhā-ye ta'til hamiše ketāb mixānam va 1SG 休日 PL いつも 本 読む PRES.1SG CONJ

televiziyon mibinam.

テレビ 見る PRES. 1SG

*並行的動作も(2)等と同様に並列接続詞 va で連結される.

(7)時間がないから、急いで行こう.

a. čon vaqt nadārim, bā 'ajale beravim.

CONJ 時間 持つ NEG.PRES.1PL 急いで 行く SUBJ.PRES.1PL

b. vaqt nadārim, bāyad 'ajale konim.

時間 持つ NEG.PRES.1PL ~すべき 急ぐ SUBJ.PRES.1PL

*理由・原因を表す従属接続詞 čon を用いた a.はやや文語的. 接続詞を伴わない直接連結の b. は口語文で用いられる. 日本語の「カラ」「ノデ」のような, 文末のモダリティによる使い分けは認められない [(8)を参照].

(8)昨夜は頭が痛かったので、いつもより早く寝ました.

a. dišab čon sar-am dard mikard,

昨夜 CONJ 頭-PRON.SUF.1SG 痛む IMPF.PAST.3SG

zudtar az hamiše xābidam.

いつもより早く 眠る PAST.1SG

b. dišab sar-am dard mikard-o

昨夜 頭-PRON.SUF.1PL 痛れ IMPF.PAST.3SG-CONJ

zudtar az hamiše xābidam.

いつもより早く 眠る PAST.1SG

(9)あの人は本を買いに行った.

u raft ke ketāb bexarad.

3SG 行く PAST.3SG CONJ 本 買う SUBJ.PRES.3SG

*目的を表す場合は、従属接続詞 ke または tā 等が使用される. いずれの場合も、従属節内では接続法を用いる. (10)も同様だが、a.ではより具体的な意味を表す複合接続詞が用いられている.

(10) (彼は) 外が良く見えるように (その) 窓を開けた.

a. (u) towrike/barāye inke birun be xubi 3SG CONJ 外 よく

dide (be)šavad, panjare rā bāz kard.

見る PASS.SUBJ.PRES.3SG 窓 POSTP 開ける PAST.3SG

b. (u) panjere rā bāz kard tā birun 3SG 窓 POSTP 開ける PAST.3SG CONJ 外

be xubi dide šavad.

よく 見る PASS.SUBJ.PRES.3SG

*目的を表す場合、従属節 tā は文頭に立つことはできない. ただし、時を表す場合は文頭に置くことは可能である「13)c.を参照

(11)ここでは夏になると、よく雨が降ります.

injā tābestān ke mišavad bārān ziyād mibārad. ここ 夏 CONJ なる PRES.3SG 雨 多く 降る PRES.3SG

*接続詞 ke は時を表す従属節を導くが、ke は文頭に来ることはできず、最初の主要要素の次の位置に立つことが多い。 同様の意味をもつ複合接続詞 vaqti(ke)「~の時」は文頭に置くことが可能 [(12),(13)を参照].

(12) (その) 窓を開けると、冷たい風が入って来た.

vaqti panjere rā bāz kardam, bād-e xonak-i CONJ 窓 POSTP 開ける PAST.1SG 風-EZ 涼しい-SUF

vāred šod / be dāxel āmad.

入る PAST.3SG

(13) (私たちが) 坂を上ると, 海が見えた.

a. az tappe ke bālā raftim, daryā dide šod.

PREP 丘 CONJ 上る PAST.1PL 海 見る PASS.PAST.3SG

b. vaqti az tappe bālā raftim, daryā dide šod.

CONJ PREP 丘 上る PAST.1PL 海 見る PASS.PAST.3SG

c. tā az tappe bālā raftim, daryā be CONJ PREP 丘 上る PAST.1PL 海 PREP

čašm-emān āmad.

目-PRON. SUE 1PL 来る PAST.3SG

(14)明日雨が降ったら、私はそこに行かない.

agar fardā bāran biyāyad, (man) be ānjā CONJ 明日 雨 来る SUBJ.PRES.3SG 1SG PREP そこ

nemiravam.

行く NEG.PRES.1SG

*仮定条件を表す条件節には、従属接続詞 agar「もし~」を用い、条件節内には接続法を用いるのが最も一般的な条件の表し方である.

*確定的条件,仮定条件,反実仮想的な前提条件の区別は条件節内の動詞によって表される [(16),(17),(20)等を参照].

(15)もっと早く起きればよかったなあ.

kāš zud-tar bidār mišodam / šode budam.

ADV 早いCOMP 起きる IMPF 1SG/PAST.PERF.1SG

agar zud-tar bidār mišodam behtar bud / mišod.

CONJ 早い-COMP 起きる IMPF よい-COMP COP.PAST.3SG/IMPF.3SG

*反実仮想を含む文では、条件節、帰結節共に未完了過去形を用いる。反実仮想の祈願文では 副詞 kāš が共起することが多い。この kāš は省略できるが、1人称(話者自身)について述べる 場合には省略できない。

*過去に関連する反実仮想には未完了過去形の他に過去完了形が用いられることもある。未完了過去形・過去完了形で著しいニュアンスの差異は認められないようである。また,反実仮想を表す場合、コピュラには例外的に直説法過去形を用いる。

(16)あんなところに行かなければよかった.

kāš be hamčenān jāyi nemiraftam. ADV PREP あのような 場所-SUF 行くIMPE.1SG

agar be hamčenān jāyi nemiraftam, CONJ PREP あのような 場所-SUF 行くIMPF.1SG

beh-tar mišod.

良いCOMP ~になるIMPE3SG

*名詞節を導くkeを用いた以下のような例も可能.

beh-tar bud (ke) be hamčenān jāyi 良い COMP COP.PAST.1SG CONJ PREP あのような 場所-SUF

nemiraftam.

行く IMPF.1SG

(17)1に1を足せば、2になる.

yek be 'alāve-ye yek mišavad do. 1 ~に加えて-EZ 1 ~になる PRES.3SG 2

agar be yek, yek rā ezāfe konim,

COMJ PREP 1 1 POSTP 加える SUBJ.PRES.1PL

do mišavad.

2 ~になる PRES.3SG

(18)駅に着いたら電話をしてね.

vaqti be istgāh residi, telefon bezan / zang bezan

CONJ PREP 駅 着く PAST.2SG. 電話する IMPR

*条件節は通常は接続法を用いるのが一般的であるが、確定性が高い場合には直説法過去形を 用いることがある.

(19)日曜日になったら、みんなで公園に行きたいなあ.

yešanbe ke šod hame bā ham 日曜日 CONJ ~になる PAST.3SG 皆 一緒に

beravim pārk. 行く SUBJ.PRES.1PL 公園

*確定性の強い前提条件では agar でなく ke を用いることも多い.

(20)明日雨が降ったら困るなあ.

agar fardā bārān bebārad / biyāyad be CONJ 明日 雨 降る/来る SUBJ.PRES.3SG PREP

dard-e sar miyoftam

困難 陥る PRES.1SG

(21)家に来るなら、その前に電話をしてくてね.

agar be xāne(-ye man) miyāyi, qabl-aš

CONJ PREP 家(-EZ 1SG) 来る PRES.2SG 前-PRON.SUF.3SG

zang bezan.

電話する IMPR

*agar 節で直説法現在形が用いられる場合は前提条件を示す.この文では、「家に来ること」は 既に話者間で確定事項として認識されている. 相手が「家に来るかどうか不明」である場合に は、条件節内では接続法が用いられる. (22),(23)も同様.

(22) [もうすぐベルが鳴るので] 鳴ったら、私に知らせてね.

[(čon) zang be zudi be sedā dar miyāyad,]

CONJ ベル もうすぐ PREP 音 現れる PRES.3SG.

har vaqt be sedā dar āmad, (be man) xabar bede

CONJ PREP 音 現れる PRES.3SG. (私に) 知らせる IMPR

*har vaqt「~の時はいつでも」

(23) [もしかしたらベルが鳴るかもしれないので] もし鳴ったら、私に知らせてね.

[šāyad zang be sedā dar āyad,]

[恐らく ベル PREP 音 現れる SUBJ.PRES.3SG.]

agar be sedā dar āmad, (be man) xabar bede.

CONJ PREP 音 現れる SUBJ.PRES.3SG (私に) 知らせる IMPR

(24)働かざるもの食うべからず、/働かない者は、食べるべきではない。

kasi ke kar nakonad/nemikonad, qazā 人-SUF REF 働〈NEG.SUBJ/IND.PRES.3SG 食事

ham nabāyad bexorad.

~も(または強調) ~すべき NEG 食べる SUBJ.3SG

(25)もう少しお金があったらなあ.

kāš kami biš-tar pul dāštam.

ADV 少し 多い-COMP 金 持つIND.PAST.1SG

*15)と同様の反実仮想文であるが、dāštan「持つ」は例外的に未完了過去形の代わりに直説法 過去形を用いる.

(26)これも食べたら?

nemixāyi ino (ham) boxori?

~したい NEG.PRES.2SG これを ~も 食べる SUBJ.PRES.2SG

ino ham boxor dige? これを ~も 食べる IMPR ADV

*dige は特に会話文中で念押しに近い意味で文末に付加される副詞.

(27)やりたいなら(自分の)好きなようにやれば?

a. agar mixāyi (in kār rā) anjām bedi,

CONJ ~したいPRES.2SG (この仕事を) 行う SUBJ.PRES.2SG

čerā hamun towri ke dust dāri anjām nemidi?

なぜ そのように CONJ 好む PRES.2SG 行う NEG.PRES.2SG

b. agar mixāyi (in kār rā) anjām bedi,

CONJ ~したい PRES.2SG (この仕事を) 行う SUBJ.PRES.2SG

hamuntowri ke dust dāri anjām bede. そのように CONJ 好む PRES.2SG 成す IMPR

*a.b.は後半のみ異なるが、a.の方が「言いさし、つき放し」のニュアンスを含む.

(28)このコップは落としても割れない.

in livān hattā agar be zamin biyoftad ham

この コップ CONJ 落ちる SUBJ.PRES.3SG ADV (強意)

nemišekanad.

壊れる NEG.PRES.3SG

*「たとえ~でも」(仮定的な逆接) には hattā agar, agar če 等を用いる. 条件節では強意のため に副詞 ham が付加されることがある.

(29)このリンゴは高かったのに、ちっとも甘くない.

in sib bā inke gerān (ham) bud,

このリンゴ CONJ 高い (ADV・強調) COP.PAST.3SG

aslan širin nist.

全く 世い COP.NEG.PRES.3SG

*bā inke「~にも拘わらず」

(30)彼の家に行ってみたけれども、彼はいなかった.

be xāne-aš raftam, vali nabud.

PREP 家-PRON.SUF.3SG 行く PAST.1SG **CONJ** COP.NEG.PAST.3SG

■略語

副詞 ADV **COMP** 比較級 CONJ 接続詞 コピュラ COP エザーフェ EΖ

未完了 (過去形のみ) **IMPF**

命令 **IMPR** NEG 否定 受動態 **PASS** PAST 過去 完了 **PERF** 複数 PL 後置詞 POSTP 前置詞 PREP

現在 接尾辞形人称代名詞 PRON.SUF

PTCPL 分詞 **REL** 関係詞 SG 単数 接続法 **SUBJ** SUF 接尾辞

PRES